

耐震対策により、地震時の安全性向上を図る

事業の概要

三重県では救急・救援活動や緊急物資の輸送等の重要な役割を果たす緊急輸送道路等に架かる橋梁などについて、地震発生時の落橋等の甚大な被害につながる損傷を防止するため、耐震性能を確保することを目的とした耐震補強工事を実施しています。

これまでに、的矢湾大橋、麻生の浦大橋、磯部大橋、幸丘橋、安楽島大橋、神路大橋2号橋などの対策工事を行いました。

現在、一般国道167号（船津橋）、主要地方道伊勢磯部線（恵利原橋）（架け替え）の耐震対策工事を進めています。

写真で見る整備状況

R167（船津橋）

←鳥羽市街

志摩市→



橋を補強しています

伊勢磯部線（恵利原橋）

←伊勢市街

志摩市街→



橋を建設しています